

新撰組同志会ニュース 第18号
 2012年11月18日発行
 新撰組同志会
 会長 盛孝光
 顧問 緑健児
 実行委員長 満留直
 事務局長 宮上郁代
 LA新撰組局長 重田光康
 〒101-0062
 東京都千代田区神田駿河台3-7
 百瀬ビル1F
 TEL.03-5283-1550 FAX.03-6912-2183



新撰組同志会

SHINSENGUMI DOSHIKAI NEWS No.18

「深」
 深く学び、深く考え、深く語り合おう

新撰組夏祭り体験記



徳之島高校三年 森田 美咲

今回は、新撰組チャリティー夏祭りでアメリカを訪れることができて、とても良かったです。いい経験ができました。最初、アメリカ行きが決まった時は、私英語も話せないし、外国で島唄を唄って大丈夫なのか、とても不安でした。でも実際に行ってみると、すごく優しい人達ばかりで、すごく安心しました。

前夜祭コンサートは、リハーサルの際に他の出演者の発表を見て、どの出演者も凄すぎて鳥肌が立ったし、私もこの人達に負けたくないくらい唄を唄って観客を喜ばせたいと思いました。そして、元とせさんと中孝介さんと一緒に六調を唄うことができてすごく幸せでした。いつもテレビでしか見ることができない島唄の先輩達とこういう形で共演させて頂いて、本当にありがとうございました。

2日目夏祭りは、昨日とは違い屋台とかもあってすごく楽しかったです。それに日本人だけでなく、アメリカ人の人達も来ていて、ある外国人に「とてもよかったですよ。」と英語で言ってもらえた時は、すごくうれしかったです。本当は外国人の人達が来て、その中で唄を唄ってもいいのだろうかと思っていましたが、そのように言ってもらえて、今までの不安がなくなりました。あと今日も元とせさんと中孝介さんと2日間も一緒に島唄が唄うことができ、とてもうれしかったです。その日の夜の夕食会で、元とせさんに「また一緒に唄いましょう。」と言われて、島唄をやっていたよかったと改めて思いました。

アメリカに行って一番うれしかったのは、裕盛、Ericとか外国に友達ができたことです。初めて会った私にも、よく接してくれて、すぐに仲良くなることができました。アメリカに友達ができると思っていなかったので、すごくうれしかったです。

今回は日頃は体験できないようなことを経験することができて本当に良かったです。特に夏祭りの出演は、どの出演者もすごく頑張ってましたし、これからもっと頑張らなくてはいけないという自分にとっていい刺激になりました。そして、今回学んだことを重田さんに言われたように社会に対して返せるようになりたいです。本当にありがとうございました。



鹿兒島工業高等学校 インテリア課二年 大木 唯

初めての海外経験となった今回の新撰組二十周年パーティに参加し、短期間ながら多くのことを学ぶことができました。

私は漫画やイラストを描くことが好きで、グラフィック関連の職に就こうと思っています。海外に行くことは今後作品を作っていく上で自分の世界観や価値観、作中のストーリーの幅を広げる上で大切なこと。そう思い参加した研修旅行でしたが、思わず日移りするようなものが道路や街並み、ごく普通のスーパーにも溢れており、様々な意味でとても勉強になりました。

私は将来的に海外進出を目標としています。芸術に環境はなく、美的感覚は人類共通のものだと思います。自分の作品を世界に発信し、人種の壁を超えて共感してもらえる、日本の文化を伝えることができる。それは味覚においても同様だと考えます。日本食という文化を世界に発信し続ける、その苦労や喜びを実際に肌で感じ、急に夢が現実的に感じられ、私も努力を忘れずこれからも精進していきたいと思いました。

強烈に印象に残る秘蔵で感じた言葉の壁や、挨拶とは万国共通の素晴らしいものだと改めて再認識させられたこと、様々な出会いがたくさんあり人間的にも成長できたこと、「百聞は一見にしかず」その言葉に強く共感できたこと。本当に有意義に過ごせた四日間であり、一回り大きくなったと自信を持って言うことができます。

このような貴重な機会を与えて下さった方々、親切にいただいた方々には非常に感謝しています。この経験を将来に生かし、より多く社会に貢献していきたいと思っています。

今回は本当にありがとうございました。

野村 美月

私は、徳之島生まれ、徳之島育ちの純徳之島っ子です。そんな私は新撰組の二十周年祭に参加させていただきました。私はたくさんの出会いを体験しました。同年代のアメリカに住む友達ができ、それが一番の出会いです。再会できる日が楽しみです。

次に「徳之島」という小さな島の人や「日本」という小さな国の人が、歌や太鼓、飲食店などでたくさん活躍しているのだなあと嬉しくなりました。心を満たす太鼓の音、歌声、食べ物は大きなエネルギーを感じました。

私の将来の夢はまだはっきりとは定まっていませんが、「人の役に立ち、人を笑顔にできる」そんな仕事をしたいです。この祭で更にこの思いが強くなりました。世界地図にのらず、日本地図でも点ほどにしかならない徳之島の誇りをかけて、強く明るく大きくなろうと決めました。この島の誇りをかけて。



鹿兒島樟南第二高等学校 豊島 智博

自分は、ロサンゼルスにある新撰組レストラン二十周年記念第六回チャリティー夏祭りに学校代表でスタッフとして参加しました。自分がこの研修に希望した理由は、徳之島出身である重田光康さんが新撰組の局長として去年本校に講演に来た

時に、重田さんの話を聞いてとても感動して徳之島から世界に出て活躍している重田さんの生き様を体で感じるチャンスは二度とないなと思い希望しました。

期待と緊張と不安を持ち、羽田からロサンゼルスまで一時間もかけて飛び、到着すると早速アクシデントがありました。それは入国検査です。入国検査では一人ずつ一対一で質問されます。自分の番が回ってきているという質問されて、最後に「どこに泊まるの?」と聞かれたので「ホームステイ」と答えました。ですが、あらかじめ書いてあった記入欄には、ホームステイ先の住所がわからなくてツアーの人たちと一緒にホテル名を書いていたのでつじつまが合わないということで、自分だけ別室に連れて行かれて、さらに二時間くらい問い詰められてようやく入国することができました。自分は何も悪いことをしていないので平気でしたが、ちょっと疲れました。その後、徳之島出身の若松さんのお宅でホームステイをしました。若松さんご夫婦は、旦那さんは見た目通り優しく、奥さんは気さくな方で、お二人のおかげで居心地の良い日々を送ることができました。ありがとうございました。

前夜祭では、自分は入場してくるお客さんにパンフレット配りをした後、会場で日本を代表するアーティストたちの演奏を見ることができました。まず、印象に残っているのは和太鼓です。今までに何度か太鼓の演技を見たことはありますが、こんなに迫力・感動・コメディのある演技は生まれて初めて見ました。自分も少しは太鼓の経験があるのでとても興味を持ちました。次にお中元のお二人です。自分は初めて中孝介さんと元とせさんの歌声を生で聞いて、やっぱり二人は最強だなど改めて感じました。前夜祭で千人以上入る会場を満員にするとは、新撰組はすごいなと思いました。

いよいよ祭り当日です。新撰組の駐車場を会場にして出店は各地域の特産品などがあり、神輿もついでだったので、日本の祭りそのものでした。ステージでは前夜祭と同様に舞台発表がされ、自分も森田美咲姉ちゃんの歌に合わせて太鼓をたたきました。みんなと同じ舞台に立ててとてもラッキーでした。重田さんのパット折や板割りを見て自分は本当に憧れました。とりにお中元の二人が持ち歌やワイド節、六調などでとても盛り上がりました。

この祭を通して気づいたことは、重田さんは仲間、お客さんを大切にしているんだと、重田さんの生き様はカッコいいなと思い、器のでかさを感ずることができました。

日本じゃできないことがたくさん経験出来たのですごくいい思い出になりました。重田さん、従業員のみさん、そして若松さん大変お世話になりました。この研修に自分を選んでいただき本当にありがとうございました。この経験を生かし、これからの人生で少しでも社会に貢献できるように頑張ります。

■座右の銘

この道の他に、
 我を生かす道なし、
 我、この道を行く……

大鼓界の風雲児
 打賊野武士 代表
 Kunihiro Kawahara

川原郁裕

SAMURAI DRUM MONSTER

祝♥誕生

田野井ファミリーに
 赤ちゃんが
 生まれました!

仲嘉 (のぶよし)
 謙美 (あみ)
 こうのすけ
 なつき 女の子
 平成24年8月8日生まれ

湯布院に行こう!
 牧尾誠さんのお店

豊後牛カツサンドが大人気!

桜家 (さくらや)
 大分県由布市湯布院町川上3009-7
 ☎0977-77-1048

- ◆火曜定休日
- ◆ランチ [月～金] 11:00～15:00
- ◆ディナー [月～金] 17:30～22:00 [土・日・祭] 11:00～22:00

祝 第25回全国小学生相撲大会
 優勝大会出場 徳之島相撲クラブ

5年 花徳中学校 徳之島 徳之島
 6年 電津中学校 徳之島 徳之島
 5年 電津中学校 豊田 倫太朗
 4年 電津中学校 自松 俊亮

ソフトクラス小学5年男子の部
優勝 原悠斗

第9回葉隠杯佐賀県空手道選手権大会
 10月8日(祝)開催

盛孝光会長から同志会のみんなに知らせたい

「深い言葉」
 賢者は財宝を貯えない。人に与えれば与えるほど、彼の財宝は豊かになる。 『老子道德経』

財宝とはお金に限らず知恵や思いやりなどで、人に与えることで自分自身が豊かになっていくということ。与えることができる人間になりましょう。 老子：古代中国春秋時代の思想家。

★鹿兒島工業高等学校ボクシング部OB会ホームページ http://rokkou-boxing.com/